



## 番外編その3 コスモタイガーII大集合

段ボール箱全50回を紹介している間に8年の月日が過ぎました。これまで第30回・40回・50回においては同一アイテムのスケール違いのキットを含めてお送りいたしましたが、他にも大好きなアイテムがいくつもありますので、今回はコスモタイガーIIを紹介します。



コスモタイガーIIは、「さらば宇宙戦艦ヤマト」に始めて登場し以降の昭和ヤマトシリーズ全作品で活躍した万能戦闘機です。「ヤマト」第1作に登場したコスモゼロやブラックタイガーは発射ギミック等を盛り込まれていましたが、(時代が下がりアニメーションや登場メカが子供だけをターゲットとしなくなったこともあってか)コスモタイガーは純粹にディスプレイモデルとして発売されました。

幸運にも600円の単座型を買ってもらえた私は、テレビの「ヤマト2」の放映時間には毎週テレビの前でこのモデルを片手に現在で云うところのブンドドに明け暮れていた記憶があります。間違いなく人生でもっともブンドしたヒコーキだと思います。

大学時代にはメカコレの三座型を徹底改修して単座型を作りました。流石にキャノピーを透明にすることはできませんでしたが、ミサイルを装備して山本機の塗装を施しクラウンのスーパーセイバーから拝借した脚を取り付けた状態をサークルのY先輩(ご無沙汰していますがお元気でしょうか)に褒めて頂いたことが懐かしく思い出されます。

そして、時は流れて—。EXモデルも食玩も手に入れました。でも作るとしたら昔のキットかなあ。実はずっと仮組中の600円のコスモタイガーが1機あって、時々箱を開けて眺めるんだけど…(苦笑)

**コスモタイガーII****当時価格600円・バンダイ製**

キットにはスケール表記がありませんが、カタログ等には1/70と記載されています。単座タイプでキャノピーと飾り台がクリアブルーの透明パーツ。飾り台はねじ止め式で角度が変えられ、機体を外すこともできます(増槽を避ける為取り付け位置は右にずれています)。画像のものは1984年頃行きつけの模型店で店頭在庫を購入したもので、箱はかなり傷んでいます。当時はオレンジ色のパーツがランナーごと塗装されていました。現在入手可能なものは無塗装です。

**メカコレクション コスモタイガーII****当時価格100円・バンダイ製**

「さらば宇宙戦艦ヤマト」終盤に登場した三座型をキット化。箱スケールで当方換算約1/150でした。最大の特徴である後部銃座は回転可能、単座型との差異がきちんと再現されています。飾り台とランディングギアが付属しますが、脚はそれなりの造形なのでLSやクラウンのジェット機シリーズから流用するのが常でした。現在も200円(+税)で入手可能。

**COSMO TIGER II****当時価格4,000円+税・バンダイ製**

プレイステーション版ヤマト等のヒットにより2007年頃キット化。接着剤の使用や細密な部品構成が許されるEXシリーズからの発売で1/100(初めてスケール表記がされた)。箱の画像は三座型ですがキットは単座/三座のコンパチキットです。透明度の高いキャノピー類や大型対艦ミサイルが付属するなど4,000円という価格に恥じない豪華な仕様は嬉しいのですが、飾り台を機体中心線に取り付ける都合上増槽を中心取り付けることができない(しかも増槽は2本だけ付属)等やや不満が残るキットです(増槽の為2箱購入)。現在はスポット生産のようです。

**メカニカルコレクション 艦載機篇****当時価格税込500円・プレックス製**

ブラインドボックス形式の食玩で、シリーズ8種中6種(シークレット含む)がコスモタイガーのバリエーションでした。原型製作はガレージキットメーカーのチーム・ストライク!が担当しており、アニメの雰囲気をかなり良く再現しています。スケールは1/144ながらキャノピーは透明、ただしランディングギアは付属しません(飾り台は付属)。何より特筆すべきはマスプロ製品として初めて山本隊仕様がラインナップされたことです(ただ、劇中登場しなかった三座型まで用意するのはカラーバリエーションの都合でしょうが如何なものかと...)。現在は入手困難です。